



川崎大師ロータリークラブ 週報

会長 須山 文夫
 副会長 石渡 和治
 副会長 星野 祐治
 幹事 八尋 国彦
 SAA 小林 勇次

例会日:毎週水曜日 PM12:30~
 例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel:044-277-7569 Fax:044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第2257回 (本年度 第25回) 例会 令和元年1月29日 一晴一

●司会 小林勇次 SAA

●点鐘 須山文夫会長

●斉唱 「四つのテスト」

卓話者紹介 須山文夫会長

株式会社 ユーフォリアファミリー
 代表取締役 青山正彦様
 (川崎市立富士見中学校元校長)



ゲストの紹介 須山文夫会長
 地区RYLA委員長 佐藤佳一様 (新横浜RC)

ご挨拶
 地区では青少年交換、ローターアクトでは皆さんに大変お世話になっている方多いのですが、今はRYLA委員長ということでやっています。今年のRYLAですが例年2月に1泊2日でやっておりましたが今年はゴールデンウィークに2泊3日で高尾山の麓でキャンプをしながら野外研修、高尾山に登りながらというような内容です。ゴールデン



ウィークということもあり人の集まりが悪くて本当に苦労しております。行ってもらえば本当に良かったという自信がありますし、そのようにしますので、ローターアクトもいらっしゃいますし、ぜひよろしく願います。事前にオリエンテーションをやって、終わってからも交流会もやりますのでそこでローターアクトの勧誘も出来るひとつの機会になると思いますのでぜひ宜敷願います。貴重なお時間をありがとうございました。

会長報告 須山文夫会長

①3月10日に台北西門ロータリークラブの43周年記念例会の御案内がきております。是非皆様のご参加をお待ちしております。

②2月19日に第47回創立記念移動例会があります。全員登録とはなっていますが是非皆様、多くの方にご出席いただきクラブのお誕生日をお祝いしましょう。是非参加の程願います。

③地区RLI 2サイクル目の御案内がきています。ぜひどなたかご参加いただきますよう、決してマイナスにはなりませんので是非参加をお願いします。

2月から3月にかけ、3月から4月にかけてご報告がありますが当クラブの奉仕活動がたくさん行われます。その節には御案内を都度、都度差し上げますが是非参加して頂きクラブライフをエンジョイして頂きたいと思っておりますのでぜひご参加をお願いします。

出席率に関していろいろ地区から苦言もございました。今日月信が配られまして、当クラブの出席率誇る数字ではないですが今月だけはブービーメーカーといわれずにすんでいます。ここにいる方々についても仕方ありません。皆様がひとりひとりお声がけできる方に欠席がちな方にお声掛けいただきますようお願いいたします。

幹事報告 八尋匡彦幹事



①回覧 台北西門ロータリークラブの出欠、創立記念例会の出欠、他クラブ例会変更
社会福祉法人育桜福祉会からの広報誌

②ポスティング

／ガバナー月信 5P鈴木昇二会員の東海道クリーンウォーク活動報告の記事。
／米山奨学会及びロータリー財団寄付者への確定申告用の領収書です。無くさないようにお願いします。
／抜粋のつづり
本日の卓話のレジュメは机においてあります。

出席報告

森田尊久会員

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2257回	44	37	24	13	64.86%
2255回	44	38	24	14	63.16%
前々回の修正	メイクアップ	3名	修正出席率		71.05%

メイクアップ

嶋崎嘉夫会員、竹中裕彦会員、大崎克之会員



スマイルレポート 星野祐治副会長



新横浜RC（地区RYLA委員長） 佐藤佳一様
本日RYLAのPRに参りました。参加者の推薦を是非お願いします。

岩井茂次会員
青山さん、卓話を楽しみにしています。
元富士見中学校 バスケットボール部 岩井茂次

中村眞治会員
青山さん お久しぶりです
野球部時代を懐かしんで卓話楽しみにしています。

須山文夫会長

①青山様 本日卓話よろしくお願ひします。クラブへの復帰お待ちしております。
②佐藤ライラ委員長、いつもお世話になっています。

本日のニコニコのテーマ

「東武会社ユーフォリアファミリー 青山様、
川崎大師ロータリークラブへ
ようこそお越しくださいました。
本日は宜しくお願い致します。」

松井昭三会員、横山俊夫会員、小林勇次会員
秦 琢二会員、星野祐治会員、野澤隆幸会員
布川 浩会員、伊藤佳子会員、工藤和弘会員
出井宏樹会員、猪狩佳亮会員、牛山裕子会員
遠藤悦弘会員、竹中裕彦会員、内田省治会員
合計22,000円

委員会報告

●青少年奉仕委員会 布川 浩委員長

①川崎大師RAC 2月第一例会の御案内です。

内容は当クラブ鈴木昇二会員による「陶芸教室」です。
日時は2/4（火）で時間はいつもより長く午後5時30分～
午後9時の予定です。場所は東門前の事務局で行います。
登録料は1,500円です。

鈴木昇二会員が皆さんのオリジナル陶器作成のサポート
をしてくれますので、みなさま是非ご参加頂き、貴重な
体験をしてみてください。尚、材料を用意する関係で参加
者は先着9名様となっております。登録締め切りは明日
30日までです。よろしくお祈りします。

②地区ローターアクトから再度「ローターアクト年次大会」御案内です。今回は第50回の記念大会で、川崎大師ローターアクトクラブ楠本会長が実行委員長を務めます。日時は2/23（日）で午後1時から受付開始です。会場は横浜駅西口のホテル「プラム」です。参加される方は、事務局で登録手続きをお願いします。締切は2月6日までです。登録料は本大会と懇親会費用込みで1人7,000円です。楠本会長を応援するため、多くの方の参加をお願いします。



●社会奉仕委員会 竹中裕彦委員長



多摩川土手清掃の御案内。殿町小学校さんとでタイアップしてスタートしました。10数年経つうちにうちの方で主幹をとる必要はないのではないかなということで、清掃活動そのものは大師中学校の地域協議会へ引渡し、大師中学校、殿町小学校、東門前小学校の児童生徒と一緒に多摩川の土手を清掃する活動になっています。理事会の承認をまだとっていないのですがメイクアップにする予定です。2/15(土)10:15に殿町小学校集合です。年々会員メンバーの参加が少なくなってきましたが毎年児童も変わりますし、保護者も変わっております。また今年も皆さんの参加をお待ちしております。

卓話者の紹介 伊藤佳子プログラム委員長

株式会社ユーフォリアファミリー
代表取締役 青山正彦様
昭和31年11月7日生まれ

ご実家は川崎区台町で海苔をとっていたということです。子どもの頃は東門前だったそうです。お住まいは川崎区小田栄で、ご家族は奥様、息子様お2人で息子様お二人は独立なさって奥様とお二人で生活をなさっているようです。株式会社ユーフォリアファミリーの代表で昭和50年に川崎市役所に入所なさり平成23年4月から平成25年3月まで川崎市立富士見中学校の校長先生をなさりました。その後平成27年3月川崎市役所を退社されNPO法人 こども未来塾理事長をされておりました。NPO法人ジェントルハートプロジェクト事務局長、アレアファーレ事務局長、株式会社ユーフォリアファミリーの代表取締役で現在いらっしゃいます。今日は楽しいお話をお願いしたいと思います。よろしくお祈りします。

卓話
株式会社ユーフォリアファミリー
代表取締役 青山正彦様



演題 子どもの貧困対策は、この国の未来への投資
～これ以上の格差の拡大は、
この国の分断に繋がる危険～

「貧困」は、財産がない。生活程度が低い。まずしい。
「貧」と困る。苦しむ。「困」
困窮 貧乏で苦しむこと

1. 日本の子どもの貧困とは？

貧困には絶対的貧困と相対的貧困の2種類。

絶対的貧困、着るものがない、食べるものがない、住む場所がない、衣・食・住で充実感を欠き、最低限の生活を営むことができない状態。

相対的貧困、国民の年間所得の中央値の50%に満たない所得水準。

生活全てにおいて低水準で、貧しい思いをしているのが絶対的貧困、金銭的に困っているのは相対的貧困。

「平成28年国民生活基礎調査」では、相対的貧困率は15.6%となり、7人に1人が貧困状態。また、15.6%のうちの半数がひとり親世帯。

ひとり親の場合、家事と仕事、育児を一人で行い、家事や育児の比重が高いほど、生活がより苦しい。

金銭的な問題だけでなく日々の疲労やストレスが蓄積されていくと身体的・精神的な問題にもつながりかねない。ひとり親世帯は子どもにも悪影響が出る可能性。

例えば、親はお金を稼がなくてはいけないため深夜まで仕事をし、家に帰れないというケース。そうなった場合、子どもは1人で過ごさなくてはいけなくなり、コミュニケーションを取る機会が減り、コミュニケーションは成長過程において重要な要素です。疎かになれば子どもが大人になった時に苦勞。

また、一人では勉強でわからないことがあっても聞くことができず、宿題をする習慣も身に付かないなど学力低下につながる要因が多いのが実状。さらに貧困が原因で

2. 子どもの貧困問題の原因は？

原因は大きく分けて2つ。

一つ目は親の収入の問題。親が仕事をしていない、またはアルバイトなどの非正規雇用のため給与が少ないなどが貧困の根本的な原因。親が定職に就けるような仕組みを作る必要だが、難易度は高い。

二つ目はひとり親家庭の増加。未婚の母や離婚によるひとり親家庭が増え、貧困家庭の多くがひとり親家庭であること。

内閣府「ひとり親家庭の離婚後の収入」によると、離婚後の養育費を支払っていない父親は8割以上であり、ひとり親家庭の貧困の原因の1つ。

3. 子どもの貧困の問題で何が起こるか

(1) 子どもの貧困がもたらす社会的損失

日本財団子どもの貧困対策チーム「子どもの貧困の社会的損失推計」の調査によれば、子どもの貧困がもたらす社会的損失は、42.9兆円。なぜこれまでに膨大な金額となるのか。

貧困家庭の子どもは一般的な家庭と比べて学習環境が悪く、能力も低くなる傾向にあります。このことが社会的損失に直接つながる。

学力が低いと大学への進学はおろか、高校への進学も危ぶまれる。進学ができないということは非正規雇用や低い給料で働く可能性が高くなるということ。このような悪循環が日本全国、多くの人の中で起こってしまうとこの人たちが収める税金よりも生活保護などの支出が大きくなり、損失が生まれる。子どもの貧困問題は本人たちだけではなく私たち国民の問題。

(2) 教育格差が生まれる

前で話したような事態は決して一過性のものではなく、そのまま放置すると、貧困層と富裕層の間で教育格差が生まれる。今の日本の風潮では、教育格差はそのまま経済格差に直結。この差が広がることで取り返しのつかない格差となり貧困層と富裕層の二極化へとつながる。

4. 困家庭の子どもに必要なことは？

子どもの貧困による現状・原因・未来への不安があるなかで私たちが子どもたちにできることは何か。

問題解決のために政府が様々な取り組みを行っているが、限度があるため私たち国民一人ひとりが自分にできることを考え、行動していかななくてはならない。

私たちにもできる子どもたちの支援の方法を実際の事例。

(1) 子どもが安心して過ごせる居場所

貧困家庭の子どもは学校から家に帰っても親が仕事でおらず、遅くまで1人で過ごさなくてはいけない。

子どもたちのために安心して楽しく過ごせる居場所を作ってあげることが重要。

実際に行われている事例としては、「放課後児童クラブ」。これは、共働き家庭などの留守家庭の10歳未満の

子どもに対して放課後の児童に適切な遊びや生活の場を与えて、健全な育成を図ることを目的とした取組み。放課後の児童に室内にて、学習支援や実験・工作などの体験プログラムを提供しています。13時から利用可能で学習だけでなくおやつや遊びの時間も設けられている。

「児童館」という施設は、児童に健全な遊びを与え、健康を促進し、情操を豊かにすることを目的とした児童福祉施設。全国に4,500か所以上設置されており、設備には遊戯室や図書館があるため遊びと学習どちらも行える。また、児童厚生員が配置されているので安心して過ごすことができます。

これらの施設があることで貧困家庭の子どもでも友達や大人とコミュニケーションを取ることができます。子どもだけでなく親にとっても心強い施設。

(2) あたたかい食事

暖かい食事は心身の発育に大変重要。

貧困家庭の子どもは、親が夜遅くまで働き朝早く仕事に出かけることが多いため、ご飯を満足に食べることができない、栄養バランスの取れた食事ができない現状にある。そんな子どもたちに救いの手を差し伸べているのが子ども食堂。

近年急激に注目を浴び始め個人や企業、NPO法人が支援しています。2019年6月時点で全国に3,700箇所を超える「こども食堂」があり、今後も増え続けると予想される。

利用料金は安価、もしくは無償で、貧困家庭でも問題なく利用できることから多くの子どもが利用。

私は、川崎市に限っても100か所のこども食堂が必要だと考えます。

(3) 学習サポート

貧困家庭の子どもは、帰宅しても勉強を教えてくれる親がいないため、学習を定着させること困難。また、朝食を摂っていないケースもあるため、授業に集中できない子どもが多い。そんな子どもたちを対象とした学習サポートの事例として、「放課後子ども教室」も始まっている。

安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動等の機会を提供することを目的とした取組み。全国の小学校を中心に16,000か所以上で実施。実施内容は、先述した「放課後児童クラブ」とほぼ同じだが、放課後児童補助員が、放課後の児童の様子を教員や親に情報共有。

親も子どもがどのように過ごしているのかわかると安心。また、子どもも自分の学校生活を親に知ってもらえるのは嬉しい。

親が夜遅くに帰ってくるのでなかなか学校でのでき事を話すことはできない。それだけに放課後児童補助員の存在はとても大きい。

5. 子どもの貧困に対して私たちができることは？

居場所作りや学習サポートはある程度の専門性が強いられるため手を出しにくいという方は多い。

貧困に苦しんでいる子どもたちのために誰もができる支援方法もある。

(1) ボランティア活動

現在行われているボランティア活動には炊き出し、貧困問題を伝えるための講演会、子どもとの自然体験活動など幅広い取り組みがある。

炊き出しであればほんの少しの料理スキルがあればでき、講演会のお手伝いも難しいものではない。

子どもの自然体験活動についても子どもを見守りながら一緒に遊ぶことができるため子ども好きな方や育児経験のある方におすすめ。

(2) 寄付活動

お金や着られなくなった服などを寄付することで、子どもたちを助けることもできる。貧困家庭の子どもの中には、自分が着たい服があっても着ることができない子どもがたくさんいる。

そんな子どもたちに小さくて着られなくなった服をあげたり、お金を寄付することで、物質的にも、精神的にも支援することができる。

これなら誰でもできるためおすすめ。一人ひとりの小さな思いやりが積み重なることで大きな成果となる。

6. 日本がひとつになって、明るい未来を作る。

日本の貧困問題は、決して野放しにできる問題ではない。解決への道をたどっていくためにも、私たち一人ひとりが当事者意識を持ち、取り組む必要がある。

これからの明るい日本のために、行動が必要。

謝辞 須山文夫会長

青山様、どうもありがとうございます。当クラブでもこういった児童貧困について11月13日にもラーニングフォーオールという外部の方を呼んで勉強させて頂いて、また青山さんにこうやって話をいただきネットワーク化された子ども食堂が16か所しか市内にはないということは実際にこの川崎市、川崎区に貧困があるという現状がちょっとビックリされている方も多いのかと思います。今後色々な地域、我々大師ロータリーとしてどういう風に取り組んでいくかということも、団体としての特性を出していく取り組みはいろいろなヒントをいただいた中で、この問題は大きい問題がはらんでいると思うのですがそういうところも我々は考えて行ければと勉強になりました。今日はありがとうございました。

●閉会宣言並びに点鐘 須山文夫会長

日 時：令和2年2月12日(水)は通常例会です。

◇クラブフォーラム

「クラブ活動を盛り上げるために パートⅠ」

— 須山会長・猪狩会長エレクト

フリーディスカッション — 」

クラブ
会報
委員会

船山 佳則／布川 浩／秦 琢二